

三重県教育ビジョンが目指すもの

～県民総参加で取り組む、子どもたちの輝く未来づくり～



時代は変革のただなかにあり、
個人の幸福な生涯の実現と社会の発展を担う
「教育」のあり方が問われています。

私たちは、新しい教育ビジョンの策定にあたり、
来るべき激動の10年を展望し、
社会がいかに変容しようとも変えてはならない
「子どもたちの大いなる可能性を引き出し育む」という教育の真髄を、
理念の中心に据えることが大切と考えました。

そして、「子どもたちの輝く未来づくり」を教育の使命として位置づけ、
そのために何ができるのかという視点に立ち、
教育のあり方を構想しました。

「輝く未来」――

それは、子どもたちの豊かな人生であり、
その生涯を包む希望に満ちた社会です。
私たちは、変化の激しい時代を生きる子どもたちのために、
課題に対し主体的に対応する「自立する力」と、
他者と共に支え合い新しい社会を創造する「共に生きる力」を、
育んでいかなければなりません。

今、そのために掲げた、
ビジョン全体を貫く「2つの決意」があります。

まず、「子どもたちを信じます」。
子どもたちを「自らの考えを持ち、主体的に行動できる存在」ととらえ、
一方的に教え込む教育ではなく、
子どもたちの力を信じ、「待つ」姿勢を備えた指導を大切にしていきます。

そして、「県民総参加で教育に向き合います」。
家庭や地域の教育力低下が懸念される中、
学校だけでは対応できない教育課題の解決に向け、
多様な主体の総力を結集して教育にあたります。

県民の皆さん、
三重で育った子どもたちが、
三重に誇りを持ち、三重で教育を受けたことを良かったと思えるよう、
このビジョンを拠り所としつつ、
社会全体で「子どもたちの輝く未来づくり」に
取り組んでいこうではありませんか。

最後になりましたが、
ビジョン策定にあたり、貴重なご意見を賜りました多くの方々に、
心からお礼を申し上げます。

平成23年3月

三重県教育委員会教育長 向井 正治